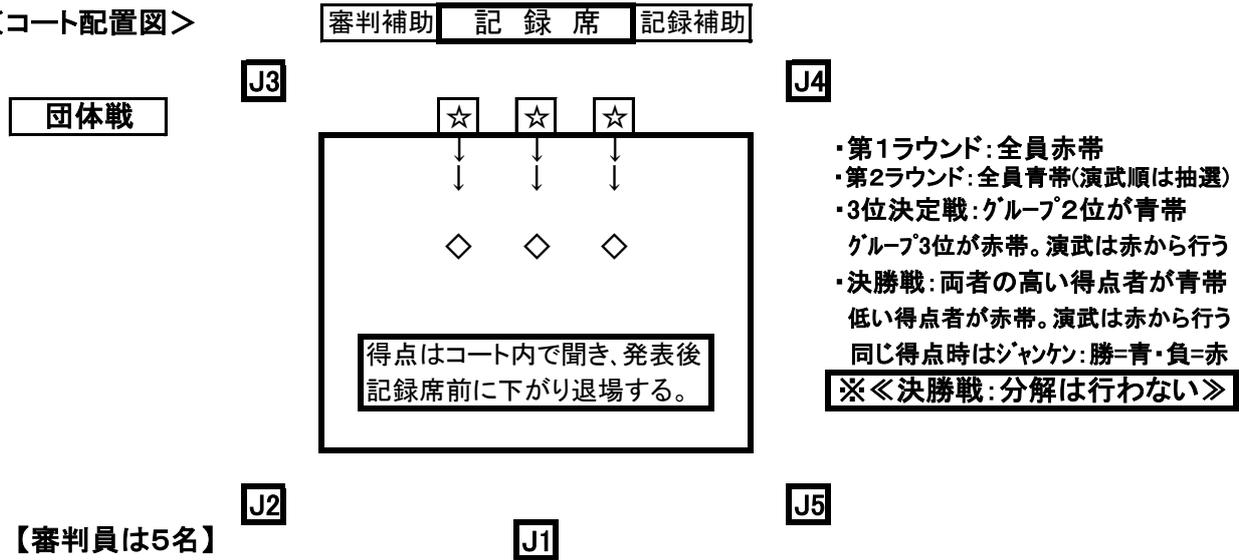


＜審判・監督会議共通：大会取決め事項＞

形競技方法

※選手の試合開始、終了時の全体の礼は『マスク着用』で記録席前に整列して行う。

＜コート配置図＞



- ・第1ラウンド：全員赤帯
 - ・第2ラウンド：全員青帯(演武順は抽選)
 - ・3位決定戦：グループ2位が青帯
グループ3位が赤帯。演武は赤から行う
 - ・決勝戦：両者の高い得点者が青帯
低い得点者が赤帯。演武は赤から行う
 - 同じ得点時はジャンケン：勝=青・負=赤
- ※《決勝戦：分解は行わない》

＜得点＞技術点と競技点とは分けず合わせた点数で行う。

- ・第1ラウンド：6.0基準(5.0～7.0) 0.1刻み【第1・2指定型】JKF指定形リストより選ぶ
- ・第2ラウンド：7.0基準(6.0～8.0) 0.1刻み【得意形】JKF得意形リストより選ぶ
- ・3位決定戦：8.0基準(7.0～9.0) 0.1刻み【得意形】JKF得意形リストより選ぶ
- ・決勝戦：9.0基準(8.0～10.0) 0.1刻み【得意形】JKF得意形リストより選ぶ

- ◎椅子に座っている審判5名はJ1(主審)の笛の合図で、一斉に得点を表示する。
次に、記録係がJ1から得点を読み上げる。J5まで読み上げた段階で審判は表示板を後方に裏返す。
約2秒程度経過した時点で、J1は再度笛を吹き、審判は得点表示板をおろす。
- ◆5名の審判が得点を表示した中で、高得点、低得点を削除、残る3名の合計点が得点となる。
 - ◆同点の場合、3名の得点の中で最低点を比べ高い方が勝ち、それと同じ場合は最高点を比べ高い方が勝ち、それでも同じ場合は、削除した中の最低点を比べ高い方が勝ち、それでもまた同じ場合は最高点を比べ高い方が勝ちとなる。それでも尚同点に成った場合は再度異なる形で再試合を行う。
- ☆形は第1ラウンドは第1・2指定形の中から、第2ラウンド以降は得意形の中から選ぶ。《再試合時も同様》
- 1度使用した形は使えない。但し、同点再演武で使用した形は再度演武出来る。

決勝戦 第2ラウンドで
得点の高い選手が青帯
得点の低い選手が赤帯

Aの1位 — **Bの1位** ☆優勝・準優勝が決定

3位決定戦 第2ラウンドで
各グループ2位が青帯
各グループ3位が赤帯

青**Aの2位** **Bの2位** 青 ☆3位2チームが決定
赤**Aの3位** **Bの3位** 赤

第2ラウンド
準決勝戦：青帯

Aグループ(3チーム選出)

1	決勝戦へ
2	3位決定戦へ
3	3位決定戦へ
	敗退

Bグループ(3チーム選出)

1	決勝戦へ
2	3位決定戦へ
3	3位決定戦へ
	敗退

☆第2ラウンドの演武順番は、監督による抽選で演武順を決める。

第1ラウンド
1回戦：赤帯
『男子団体』

Aグループ(4チーム選出)

1	第2ラウンドへ
2	第2ラウンドへ
3	第2ラウンドへ
4	第2ラウンドへ
	敗退

Bグループ(4チーム選出)

1	第2ラウンドへ
2	第2ラウンドへ
3	第2ラウンドへ
4	第2ラウンドへ
	敗退

※『女子団体』は7チームの参加の為、第1ラウンドは同じグループにて全チーム行い、上位6チームが第2ラウンドに進める。第2ラウンドではAグループ3チームとBグループ3チームに分かれる。
《Aグループは第1ラウンドの1位・3位・6位/Bグループは2位・4位・5位とする》